産業上の使用者に対する質問状

1. 本質問状の構成は、以下のとおりです。
2. 調査項目A

貴社の企業概要、貴社が使用した調査対象貨物、第三国産同種の貨物及び本邦産同種の貨物の流通経路、購入等に関する一般的情報を求めるものです。

1. 調査項目B

貴社の調査対象貨物、第三国産同種の貨物及び本邦産同種の貨物の取扱状況に関する情報を求めるものです。

1. 調査項目C

貴社が使用した調査対象貨物、第三国産同種の貨物及び本邦産同種の貨物の比較に関する情報を求めるものです。

1. 調査項目D

課税期間満了後に実質的な損害が継続又は再発するおそれに関する情報を求めるものです。

1. 本質問状の回答作成責任者及び回答作成担当者について記入してください。
2. 回答作成責任者

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 氏名 |  | |
| 企業名 |  | |
| 所属 |  | |
| 役職 |  | |
| 所在地 | 〒 　　　（「－」無しで記入してください） | |
|  | |
| 連絡先 | 電話番号 |  |
| 電子メールアドレス |  |

1. 回答作成担当者

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 氏名 |  | |
| 所属 |  | |
| 役職 |  | |
| 所在地（1）と異なる場合に記入 | 〒 　　　（「－」無しで記入してください） | |
|  | |
| 連絡先 | 電話番号 |  |
| 電子メールアドレス |  |

## 調査項目A 　　一般的情報

|  |
| --- |
| * 本調査項目は、貴社の企業概要、貴社が使用した調査対象貨物、第三国産同種の貨物及び本邦産同種の貨物の流通経路、購入等に関する一般的な情報を求めるものです。 * 調査対象期間は特に記載のない限り、令和2年（2020年）1月1日から令和7年（2025年）6月30日までです。 * 回答欄は必要に応じて拡大して使用してください。 * 本調査項目の回答に対する政府の検証に正確を期すため、各質問の回答を作成する上で用いた資料及びその根拠となる書類の写しを、添付資料として提出（日本語訳を添付）してください。その添付資料名等を質問状に添付された「（別添）添付資料一覧表」に記入し提出してください。なお、添付資料には、必ず右肩に質問項目番号を明記し、同一質問項目番号に関する資料が複数に及ぶ場合は、書類の上部中央に根拠資料の連番を記載してください。どの質問項目に対する回答に係る根拠資料であるか明示されていない場合、提出したことが認識されない場合があります。 * 回答が無い場合は、数値に係るものは「0」、その他は「該当無し」としてください。空欄は、貴社が当該質問に対して回答する意思がないものとして取り扱います。 |

A-1　企業概要

貴社の企業概要を回答してください。また、貴社の概要が記載されたパンフレット等がある場合には**添付資料A-1**として添付してください。

A-1-1　企業名

|  |
| --- |
|  |

A-1-2　代表者氏名

|  |
| --- |
|  |

A-1-3　本社所在地

|  |
| --- |
|  |

A-1-4　主要株主の名称及び株式の保有割合（調査対象期間末（令和7年（2025年）6月30日）現在で記入してください。）

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 株主名称 | 保有割合 | |
|  |  | ％ |
|  |  | ％ |
|  |  | ％ |

（注）貴社の議決権に係る株式の5％以上を所有していた株主について記入してください。

A-2　関連企業概要

調査対象貨物、第三国産同種の貨物及び本邦産同種の貨物の生産・販売・輸入・使用等をしていた貴社の関連企業（「不当廉売関税の課税期間の延長に関する調査への協力のお願い」【資料1】用語の定義（４）を参照してください。）がある場合には、当該企業の概要を回答してください。

なお、当該関連企業が複数ある場合は、回答欄（調査項目A-2-1からA-2-7）を複製して記入してください。また、当該関連企業の概要が記載されたパンフレット等がある場合には**添付資料A-2**として添付してください。

A-2-1　関連企業の企業名

|  |
| --- |
|  |

A-2-2　関連企業の代表者名

|  |
| --- |
|  |

A-2-3　関連企業の本社所在地

|  |
| --- |
|  |

A-2-4　関連企業の業務概要

調査対象貨物、第三国産同種の貨物及び本邦産同種の貨物に関する以下の各項目について、「有」又は「無」のいずれかを選択してください。

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
|  | 生産 | 販売 | 輸入 | 使用 | 当該関連企業から  貴社が購入しているか |
| 有 |  |  |  |  |  |
| 無 |  |  |  |  |  |

A-2-5　関連企業の業務の詳細

|  |
| --- |
|  |

A-2-6　関連企業と貴社の関係

|  |
| --- |
|  |

A-2-7　関連企業の株主

貴社の生産又は販売に係る関連企業の調査対象期間末（令和7年（2025年6月30日）現在の主要株主の名称及び株式の保有割合を回答してください。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 株主名称 | 保有割合 | |
|  |  | ％ |
|  |  | ％ |
|  |  | ％ |

（注）当該関連企業の議決権に係る株式の5％以上を所有していた株主について記入してください。

A-3　販売流通経路

調査対象期間中に、貴社が購入した調査対象貨物、第三国産同種の貨物及び本邦産同種の貨物の流通経路について、**様式A-3**に説明してください。

* + 1. 流通経路の変化の有無

調査対象期間中に、貴社が購入した調査対象貨物、第三国同種の貨物及び本邦産同種の貨物の流通経路について、変化がありましたか。次のいずれか１つを選択してください。

|  |  |
| --- | --- |
| 有 |  |
| 無 |  |

* + 1. 流通経路の変化の内容

上記A-3-1において、「有」と回答した場合には、その内容を具体的に説明してください。

|  |
| --- |
|  |

A-4　市場価格、需要、供給の動向  
A-4-1　調査対象期間中の市場価格、需要、供給の動向

調査対象貨物、第三国産同種の貨物及び本邦産同種の貨物について、調査対象期間における国内及び国外（韓国及び第三国）の①市場価格、②需要及び③供給それぞれの動向及び要因を、具体的な時期を示しつつ説明してください。なお、国外での水酸化カリウムに対する不当廉売関税措置等による影響がある場合には当該影響も含めて説明してください。

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
|  | | ①市場価格の動向  及び要因 | ②需要の動向及び要因 | ③供給の動向及び要因 |
| 国  内 | |  |  |  |
| 国外 | 韓国 |  |  |  |
| 中国 |  |  |  |
| 第三国  （国名を記載） |  |  |  |

A-4-2　課税期間満了後の市場価格、需要、供給の動向の変化見込みの有無

調査対象貨物の輸入に対する現行の不当廉売関税の課税期間が満了した場合、国内及び国外の①市場価格、②需要及び③供給の動向について、何らかの変化があると考えますか。次のいずれか１つを選択してください。

|  |  |
| --- | --- |
| 有 |  |
| 無 |  |

A-4-3　調査対象期間後の市場価格、需要、供給の動向の変化の見込みの内容

上記A-4-2において、「有」と回答した場合には、調査対象貨物、第三国産同種の貨物及び本邦産同種の貨物について、国内及び国外（韓国及び第三国）の①市場価格、②需要及び③供給それぞれの動向及び要因を、変化が見込まれる時期及び対象となる品種を示しつつ説明してください。なお、国外での水酸化カリウムに対する不当廉売課税措置による影響がある場合には当該影響も含めて説明してください。

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
|  | | ①市場価格の動向  及び要因 | ②需要の動向及び要因 | ③供給の動向及び要因 |
| 国  内 | |  |  |  |
| 国外 | 韓国 |  |  |  |
| 中国 |  |  |  |
| 第三国（国名を記載） |  |  |  |

A-4-4　市場価格、需要、供給の動向の変化の見込みに関する資料

水酸化カリウムの 将来の市場予測について記述、検討・分析を行っている事業計画書又は内部文書、定量化・分析を行っている研究結果、調査結果等がある場合には、**添付資料A-4-4**として提出してください。

調査項目B　　調査対象貨物、第三国産同種の貨物及び本邦産同種の貨物の取扱状況

|  |
| --- |
| * 本調査項目は、貴社の調査対象貨物、第三国産同種の貨物及び本邦産同種の貨物の取扱状況に関する情報を求めるものです。 * 調査対象期間は、特に記載のない限り、令和2年（2020年）1月1日から令和7年（2025年）6月30日までです。 * 回答欄は必要に応じて拡大して使用してください。 * 本調査項目の回答に対する政府の検証に正確を期すため、各質問の回答を作成する上で用いた資料及びその根拠となる書類の写しを、添付資料として提出（日本語訳を添付）してください。また、その添付資料名等を質問状に添付された「（別添）添付資料一覧表」に記入し提出してください。なお、添付資料には、必ず右肩に質問項目番号を明記し、同一質問項目番号に関する資料が複数に及ぶ場合は、書類の上部中央に根拠資料の連番を記載してください。どの質問項目に対する回答に係る根拠資料であるか明示されていない場合、提出したことが認識されない場合があります。 * 回答が無い場合は、数値に係るものは「0」、その他は「該当無し」としてください。空欄は、貴社が当該質問に対して回答する意思がないものとして取り扱います。 |

B-1　購入状況

B-1-1　 貴社が購入した貨物

調査対象期間中に貴社が購入した調査対象貨物、第三国産同種の貨物、本邦産同種の貨物及び、それらを使用して生産した製品について**様式B-1**に回答してください。

B-2　購入に係る変化

B-2-1　購入に係る変動の有無

調査対象期間中に、貴社及び関連企業が購入した調査対象貨物、第三国産同種の貨物及び本邦産同種の貨物の購入量又は購入額に、大幅な変動はありましたか。次のいずれか１つを選択してください。

|  |  |
| --- | --- |
| 有 |  |
| 無 |  |

B-2-2　購入に係る変動の理由

上記B-2-1において、「有」と回答した場合には、その内容及び考えられる理由を具体的に説明してください。

|  |
| --- |
|  |

B-2-3　購入に係る変動の見込み

現行の不当廉売関税の課税期間が満了した場合、貴社及び関連会社が購入した調査対象貨物、第三国産同種の貨物及び本邦産同種の貨物の購入量又は購入額に、何らかの変化があると考えますか。次のいずれか１つを選択してください。

|  |  |
| --- | --- |
| 有 |  |
| 無 |  |

B-2-4　購入に係る変動の見込みの内容

上記B-2-3において、「有」と回答した場合には、見込まれている時期、内容及び理由について、詳細に説明してください。また、その前提となる事項やその裏付けとなる資料等を、**添付資料B-2-4**として提出してください。

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 項目 | 時期 | 内容 | 理由 |
|  |  |  |  |
|  |  |  |  |
|  |  |  |  |

B-3　貴社の生産した製品及び技術の動向による需給動向の変化

B-3-1　需給動向に変化を与えた事項の有無

調査対象期間中に、貴社の生産した製品の生産及び技術の動向が調査対象貨物、第三国産同種の貨物又は本邦産同種の貨物の需給動向に変化を与えた事項はありましたか。次のいずれか１つを選択してください。

|  |  |
| --- | --- |
| 有 |  |
| 無 |  |

B-3-2　需給動向に変化を与えた事項の内容

上記B-3-1において、「有」と回答した場合には、その具体的内容を説明してください。

|  |
| --- |
|  |

調査項目C　調査対象貨物、第三国産同種の貨物及び本邦産同種の貨物の比較

|  |
| --- |
| * 本調査項目は、貴社が取り扱った（生産、輸入、購入、販売又は使用した）ことがある調査対象貨物、第三国産同種の貨物及び本邦産同種の貨物の比較に関する情報を求めるものです。 * 調査対象期間は、特に記載のない限り、令和2年（2020年）1月1日から令和7年（2025年）6月30日までです。 * 回答欄は必要に応じて拡大して使用してください。 * 本調査項目の回答に対する政府の検証に正確を期すため、各質問の回答を作成する上で用いた資料及びその根拠となる書類の写しを、添付資料として提出（日本語訳を添付）してください。また、その添付資料名等を質問状に添付された「（別添）添付資料一覧表」に記入し提出してください。なお、添付資料には、必ず右肩に質問項目番号を明記し、同一質問項目番号に関する資料が複数に及ぶ場合は、書類の上部中央に根拠資料の連番を記載してください。どの質問項目に対する回答に係る根拠資料であるか明示されていない場合、提出したことが認識されない場合があります。 * 回答が無い場合は、数値に係るものは「0」、その他は「該当無し」としてください。空欄は、貴社が当該質問に対して回答する意思がないものとして取り扱います。 |

C-1　原産国が異なる製品の取扱い状況

貴社が取り扱った（生産、輸入、購入、販売又は使用した）ことのある水酸化カリウムの原産国を回答してください。

|  |  |
| --- | --- |
| 日本 |  |
| 韓国 |  |
| 中国 |  |
| その他 |  | 具体的に記載  （　　　　　　） |

C-2　代替可能性

C-2-1　原産国が異なる場合の代替可能性の変化の有無

本邦産同種の貨物に対する調査対象貨物及び第三国産同種の貨物の間の代替可能性について、調査対象期間中に変化がありましたか。次のいずれか１つを選択してください。

|  |  |
| --- | --- |
| 有 |  |
| 無 |  |

C-2-2　代替可能性の変化の内容

上記C-2-1において、「有」と回答した場合には、その時期、内容及び理由について説明してください。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 時期 | 内容 | 理由 |
|
|  |  |  |
|
|  |  |  |
|
|  |  |  |
|

C-2-3　原産国が異なる場合の代替可能性の変化の見込みの有無

貴社が取り扱った調査対象貨物、第三国産同種の貨物及び本邦産同種の貨物の間の代替可能性について、将来的に何らかの変化が生じるという見込みを有していますか。次のいずれか１つを選択してください。

|  |  |
| --- | --- |
| 有 |  |
| 無 |  |

C-2-4　原産国が異なる場合の代替可能性の変化の見込みの内容

上記C-2-3において、「有」と回答した場合には、その見込まれている時期、内容及び理由について説明してください。また、当該変化による輸入量及び価格等への影響について説明してください。

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 時期 | 内容 | 理由 | 輸入量及び価格等に対する影響 |
|  |  |  |  |
|  |  |  |  |
|  |  |  |  |

C-3　品種間の相違の状況

C-3-1　品種間の相違の変化の有無

調査対象期間中、水酸化カリウムの品種間における物理的及び化学的特性や最終的な用途に関する相違点について、何らかの変化がありましたか。次のいずれか１つを選択してください。

|  |  |
| --- | --- |
| 有 |  |
| 無 |  |

C-3-2　品種間の相違の変化の内容

上記C-3-1において、「有」と回答した場合には、その時期、内容及び理由について説明してください。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 時期 | 内容 | 理由 |
|
|  |  |  |
|
|  |  |  |
|
|  |  |  |

C-3-3　品種間の相違の変化の見込みの有無

水酸化カリウムの品種間における物理的及び化学的特性や最終的な用途に関する相違点について、将来的に何らかの変化が生じるという見込みを有していますか。次のいずれか１つを選択してください。

|  |  |
| --- | --- |
| 有 |  |
| 無 |  |

C-3-4　品種間の相違の変化の見込みの内容

上記C-3-3において、「有」と回答した場合には、その見込まれている時期、内容及び理由について説明してください。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 時期 | 内容 | 理由 |
|
|  |  |  |
|
|  |  |  |
|
|  |  |  |
|

C-4　品種間の市場における競合

C-4-1　品種間の市場における競合の変化の有無

貴社が取り扱った調査対象貨物、第三国産同種の貨物及び本邦産同種の貨物について、品種間で比較した場合、その市場における競合に変化がありましたか。次のいずれか１つを選択してください。

|  |  |
| --- | --- |
| 有 |  |
| 無 |  |

C-4-2　品種間の市場における競合の変化の内容

上記C-4-1において、「有」と回答した場合には、その時期、内容及び理由について説明してください。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 時期 | 内容 | 理由 |
|
|  |  |  |
|
|  |  |  |
|
|  |  |  |
|

C-4-3　品種間の市場における競合の変化の見込みの有無

水酸化カリウムの品種間での市場における競合について、将来的に何らかの変化が生じる見込みを有していますか。次のいずれか１つを選択してください。

|  |  |
| --- | --- |
| 有 |  |
| 無 |  |

C-4-4　品種間の市場における競合の変化の見込みの内容

上記C-4-3において、「有」と回答した場合には、その見込まれている時期、内容及び理由について説明してください。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 時期 | 内容 | 理由 |
|
|  |  |  |
|
|  |  |  |
|
|  |  |  |
|

C-5　貴社が購入する際に重視する事項

C-5-1　貴社が重視する事項の変化の有無

貴社が調査対象貨物、第三国産同種の貨物又は本邦産同種の貨物を取り扱うに際し、重視する事項（例えば、価格、決済条件、品質、輸送網（輸送ネットワーク）、安全性、品揃えの幅（製品レンジ）、技術援助（技術サポート）、供給安定性、配送期間等）に変化がありましたか。次のいずれか１つを選択してください。

|  |  |
| --- | --- |
| 有 |  |
| 無 |  |

C-5-2　貴社が重視する事項の変化の内容

上記C-5-1において、「有」と回答した場合には、その時期、内容及び理由について説明してください。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 時期 | 内容 | 理由 |
|
|  |  |  |
|
|  |  |  |
|
|  |  |  |
|

C-5-3　貴社が重視する事項の変化の見込みの有無

　貴社が調査対象貨物、第三国産同種の貨物又は本邦産同種の貨物を取り扱うに際し、将来的に、貴社が重視する事項の変化の見込みがありますか。次のいずれか１つを選択してください。

|  |  |
| --- | --- |
| 有 |  |
| 無 |  |

C-5-4　貴社が重視する事項の変化の見込みの内容

上記C-5-3において、「有」と回答した場合には、その見込まれている時期、内容及び理由について説明してください。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 時期 | 内容 | 理由 |
|
|  |  |  |
|
|  |  |  |
|
|  |  |  |
|

C-6　制限的な商慣行

C-6-1　制限的な商慣行による阻害の有無

貴社が調査対象期間中に取り扱った調査対象貨物、第三国産同種の貨物又は貴社が生産した本邦産同種の貨物の取引は、公正かつ自由な競争状態においてなされましたか。それとも制限的な商慣行等により公正かつ自由な競争状態が阻害されていたといった実態はありましたか。制限的な商慣行等による公正かつ自由な競争状態の阻害の有無について、次のいずれか１つを選択してください。

|  |  |
| --- | --- |
| 有 |  |
| 無 |  |

C-6-2　制限的な商慣行の内容

上記C-6-1において制限的な商慣行等による公正かつ自由な競争状態の阻害が「有」と回答した場合には、その具体的内容を回答してください。

|  |
| --- |
|  |

C-7　調査対象貨物及び同種の貨物の代用品

C-7-1　代用品の有無

調査対象貨物、第三国産同種の貨物及び本邦産同種の貨物以外に、調査対象貨物、第三国産同種の貨物及び本邦産同種の貨物と同じ目的で使用することのできるもの（代用品）がありましたか。次のいずれか１つを選択してください。

|  |  |
| --- | --- |
| 有 |  |
| 無 |  |

C-7-2　代用品の説明

上記C-7-1において、「有」と回答した場合には、その名称、物質の特性を含め詳細を説明してください。

また、貴社が生産した製品について、その特性等の多少の相違を許容すれば代用が可能となる、あるいは、生産した製品の設計又は仕様の多少の変更によって代用が可能となる場合等、代用品で代用するに当たり一定の条件が満たされる必要がある場合には、その内容を説明してください。

|  |  |
| --- | --- |
| 代用品の名称及びその特性 | 代用のための条件 |
|  |  |
|  |  |

C-7-3　代用品がない場合の影響

上記C-7-1において、「無」と回答した場合、水酸化カリウムが調達困難となった場合に貴社がどのような影響を受けるかについて、水酸化カリウムを用いて製造している製品名や製造工程に触れつつ、具体的に説明してください。

|  |  |
| --- | --- |
| 水酸化カリウムを用いて製造している製品 | 貴社が受ける影響の内容 |
|  |  |
|  |  |

C-8　その他の情報

その他、提供すべき情報があれば、記入してください。

|  |
| --- |
|  |

調査項目D　課税期間満了後に実質的な損害が継続又は再発するおそれに関する情報

|  |
| --- |
| * 本調査項目は、課税期間満了後に実質的な損害が継続又は再発するおそれに関する情報を求めるものです。 * 調査対象期間は、特に記載のない限り、令和2年（2020年）1月1日から令和7年（2025年）6月30日までです。 * 回答欄は必要に応じて拡大して使用してください。 * 本調査項目の回答に対する政府の検証に正確を期すため、各質問の回答を作成する上で用いた資料及びその根拠となる書類の写しを、添付資料として提出（日本語訳を添付）してください。また、その添付資料名等を質問状に添付された「（別添）添付資料一覧表」に記入し提出してください。なお、添付資料には、必ず右肩に質問項目番号を明記し、同一質問項目番号に関する資料が複数に及ぶ場合は、書類の上部中央に根拠資料の連番を記載してください。どの質問項目に対する回答にかかる根拠資料であるか明示されていない場合、提出したことが認識されない場合があります。 * 回答が無い場合は、数値に係るものは「0」、その他は「該当無し」としてください。空欄は、貴社が当該質問に対して回答する意思がないものとして取り扱います。 |

D-1　課税期間満了後の事業への影響

D-1-1　課税期間満了後の事業への影響の有無

調査対象貨物の輸入に対する現行の不当廉売関税の課税期間が満了した場合、貴社の事業に影響を与えますか。次のいずれか１つを選択してください。

|  |  |
| --- | --- |
| 有 |  |
| 無 |  |

D-1-2　課税期間満了後の事業への影響の内容

上記D-1-1において、「有」と回答した場合には、その見込まれている時期、内容及び理由について説明してください。また、その見込まれる影響の内容及び根拠を示す資料を**添付資料D-1-2**として提出してください。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 時期 | 内容 | 理由 |
|
|  |  |  |
|
|  |  |  |
|
|  |  |  |
|